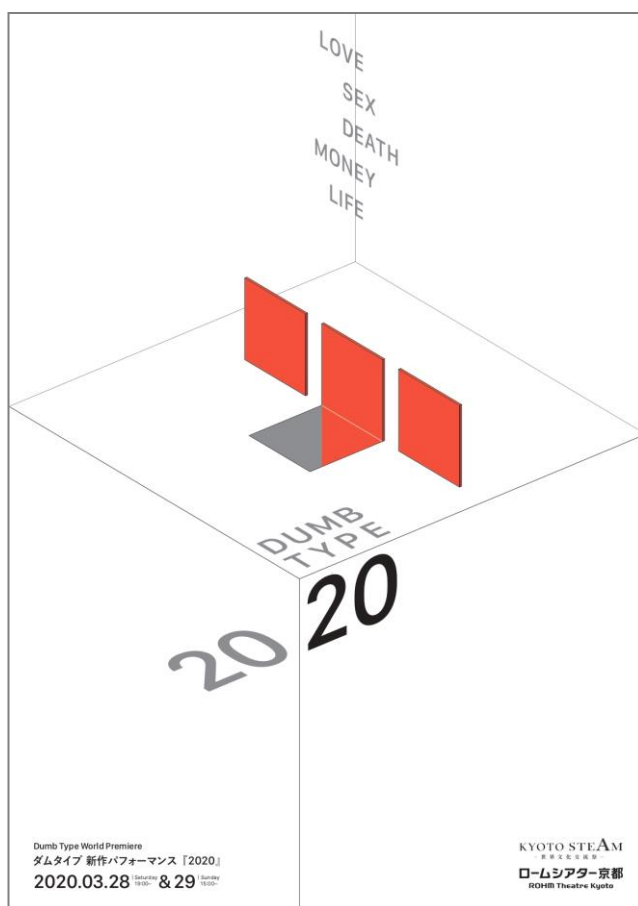


令和元(2019)年12月25日/2020年3月更新 報道発表資料  
[本リリース発信元] ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団) 広報担当:松本、長野

KYOTO STEAM-世界文化交流祭-2020  
ダムタイプ 新作パフォーマンス

『2020』



2020年3月28日(土) 19:00~

29日(日) 15:00~、19:00~

ロームシアター京都 サウスホール

[本リリースに関するお問合せ先]

ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団) 広報担当:松本、長野

電話:075-771-6051(9:00~17:00) FAX:075-746-3366 E-mail:press@rohmtheatrekkyoto.jp

## 世界がその動向を注目し続ける伝説のマルチメディア・パフォーマンス・グループ ダムタイプ、2002年以來 18年ぶりの待望の新作を2020年に発表！

ダムタイプは、映像、絵画、建築、デザイン、コンピューター・プログラムなど異なる背景をもつメンバーによるアーティスト集団です。1984年の結成以來、プロジェクトごとにリーダー的な人物、表現方法を変化させながらマルチメディアを使ったパフォーマンスやインスタレーションを中心に発表し、国内外で活動しています。2020年3月に、『Voyage』（2002年）以來 18年ぶりとなる新作を、ロームシアター京都サウスホールにて上演します。



『2020』リハーサルより（2020年1月） 撮影：井上 嘉和

### ■ 公開稽古（2019年3月）に約600名の観客が殺到、新作への期待が高まる

新作に向けた創作を2018年12月から開始。翌年3月には、新作を発表する会場・ロームシアター京都 サウスホールにて、公開稽古（ワークインプログレス）を実施し、全国から約600名もの方々が来場しました。「これからは楽しみ」「新作への期待が高まりました」などの声を多数いただきました。



公開稽古（ワークインプログレス）より 撮影：井上 嘉和

## <プロフィール>

### ダムタイプ dumb type

1984年に結成。ヴィジュアル・アート、映像、コンピューター・プログラミング、音楽、ダンスなど、様々な分野の複数のアーティストによって構成される。京都を活動の拠点とし、プロジェクト毎に参加メンバーが変化して制作される作品は、既成のジャンルにとらわれない、あらゆる表現の形態を横断するマルチメディア・アートとして国内外で発表されている。2018年にポンピドゥー・センター・メッス（フランス）で個展「DUMB TYPE: ACTIONS + REFLEXIONS」を開催、さらに新作やアーカイブを加えてバージョンアップした展覧会が2019年11月より東京都現代美術館にて開催中（2020年2月まで）。ダムタイプ公式WEBサイト：<http://dumbtype.com/>

## <メンバープロフィール>

メンバー：池田亮司・大鹿展明・尾崎 聡・白木 良・砂山典子・高谷史郎・高谷桜子・田中真由美・泊 博雅・濱 哲史・原 摩利彦・平井優子・藤本隆行・古舘 健・藪内美佐子・アオイヤマダ・山中 透・吉本有輝子

宣伝美術：南塚也

### 池田亮司 Ryoji Ikeda

パリ、京都を拠点に活動。作曲家／アーティストとして、音そのものの持つ本質的な特性とその視覚化を、数学的精度と徹底した美学で追及し、その活動は世界中から注目されている。2016年には、スイスのパーカッション集団「Eklekto」と共に電子音源や映像を用いないアコースティック楽器の曲を作曲した新たな音楽プロジェクト「music for percussion」を手がけた。2019年9月にはパリ・オペラ座で杉本博司が演出を手がける『At the Hawk's Well / 鷹の井戸』に音楽・空間演出として参加。

### 尾崎 聡 So Ozaki

大阪外国語大学にてアメリカ演劇を学ぶ。「維新派」及び「ダムタイプ」にパフォーマーとして参加。舞台監督としてダムタイプ、Noism、チェルフィッチュ等。KYOTO EXPERIMENT 京都国際舞台芸術祭、原宿パフォーマンスプラス、あいちトリエンナーレ、NIDF、ポストメインストリームパフォーミングアーツフェスティバルなどで技術監督。

### 砂山典子 Norico Sunayama

ダンサー、パフォーマンス・アーティスト。1990年より「ダムタイプ」のメンバー。ソロワークに、ライブインスタレーション『むせかえる世界』、[First Class Barbarian] などがある。国内外のアーティストとジャンル横断的コラボレーション多数。コンテンポラリーダンス／アートと並行し、[C.Snatch Z.] 名義で、クラブやキャバレーなど夜の社交場でユーモアのある挑発的なショーを発表し続けている。

#### 高谷史郎 Shiro Takatani

1984年から「ダムタイプ」の活動に参加。様々なメディアを用いたパフォーマンスやインスタレーション作品の制作に携わり、世界各地の劇場や美術館、アートセンターで公演や展示を行う。1998年からダムタイプの活動と並行して個人の制作活動を開始。主な作品として、パフォーマンス『明るい部屋』（初演：2008年 ドイツ世界演劇祭）、『CHROMA』（初演：2012年 滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール）、『ST/LL』（初演：2015年 ル・ヴォルカン国立舞台、フランス）など。

#### 田中真由美 Mayumi Tanaka

1990年から「ダムタイプ」のメンバーとして『pH』から『Voyage』まで全パフォーマンス作品に参加。近年、MAMIUMUの名義にて聲、グラスハープ、ライアー、笛、太鼓、木・石・金属の鳴り物などを使い音の表現活動を行う。舞踏、料理、香りなどの他分野とのコラボレーション、COSMIC WONDER 主宰/美術作家 前田征紀とのサウンドアートユニット JUE AND ANOA での作品発表及び演奏活動。

#### 濱 哲史 Satoshi Hama

2018年『DUMB TYPE EXHIBITION: ACTIONS + REFLEXIONS』（ポンピドゥーセンター・メッス、フランス）にコラボレータとして参加。サウンド、映像、プログラミングを担当。

#### 原 摩利彦 Marihiko Hara

作曲家。京都大学教育学部卒業。同大学大学院教育学研究科修士課程中退。音風景から立ち上がる質感／静謐を軸に、ピアノを使用したポスト・クラシカルから音響的なサウンド・スケープまで、舞台・ファインアート・映画など、さまざまな媒体形式で制作活動を行なっている。高谷史郎パフォーマンス『ST/LL』、『CHROMA』に参加。ダミアン・ジャレ『Vessel』や野田秀樹『贋作 桜の森の満開の下』の音楽を担当。

#### 平井優子 Yuko Hirai

ダンサー/振付家。幼少よりクラシックバレエをはじめ。のちにコンテンポラリーダンスへ転向。東京を拠点に数々の客演を経て2001年フランス政府給費留学生として渡仏。のちに「ダムタイプ」、高谷史郎、藤本隆行作品に参加。自身の演出作品として『愛について語るときに我々の語ること』（2012年）、『猿媧—The face of strangers』（2014年～）、『Ghosting—軌跡の庭』（2016年）、その他、ダンス×音楽家シリーズ、バレエダンサーへの振付作品、能楽を題材としたコラボレーションプロジェクトなどがある。2016年、第17回福武文化奨励賞受賞。

#### 藤本隆行 Takayuki Fujimoto

照明家・ディレクター。「ダムタイプ」の活動と並行して、21世紀に入ってから個人の活動の場として Kinsei R&D を設立。LED照明を軸に、デジタル・プログラミングを使った舞台／美術作品の制作を開始。また、2010年からは大阪の山本能楽堂にて、古典能の演目にLEDで照明を付ける試み続けるなど、国内外のアーティストとのコラボレーションも、多数行なっている。

#### 古舘 健 Ken Furudate

コンピュータープログラミング、エレクトロニクスを軸に、AV インスタレーション/パフォーマンス、テキスタイルなど様々な媒体で活動を展開。サインウェブやパルス、ドットやラインなどプリミティブな素材を用いて複雑でオーガニックな状況を作り出す。2002年よりサウンドアートプロジェクト The SINE WAVE ORCHESTRA を主宰。

#### 藪内美佐子 Misako Yabuuchi

絵画、アニメーション、編みぐるみ、詩などをゆっくりとしたペースで発表。1984年より「ダムタイプ」に参加する。また他アーティストとのコラボレーションで パフォーマンスやサウンドを発表。身の回りに起こる出来事の新たな側面や組み合わせの妙に好奇心を持ち探求したいと思っている。

#### アオイヤマダ Aoi Yamada

2000年生まれ、長野県出身。幼少からダンスをはじめ 2017年初頭 思想表現に目覚める。Nulbarich、米津玄師、夏木マリ、MAN WITH A MISSION など、アーティストのミュージックビデオに多数出演。

モデルとして、ラフォーレ原宿メインビジュアル、VOGUE、フィガロ、装苑などのファッション雑誌、また、スイスで行われた Baselworld2018&2019 CITIZEN の会場で時を表現するなど、その活動は多岐にわたる。

#### 山中 透 Toru Yamanaka

作曲家、プロデューサー、DJ。学生時代、京都を中心に実験音楽系のフィールドで活動し「ダムタイプ」の立ち上げに参加。創世期のメンバーとして、音楽と音響を担当。

いまま続く伝説的なドラッグクイーン・イベント「Diamonds Are Forever」のDJ、主催者で、様々な分野の人々と積極的にコラボレーションを行っている。

2016年『三代目、りちゃあど』野田秀樹脚本、オン・ケンセン演出。2018年 高橋匡太 興福寺中金堂落慶法要ライトアップ(奈良)。2019年 MuDA『K.R.O.P.P EXTENDED 2019』(スウェーデン)、矢内原美邦『春夏秋冬』(インドネシア)、高橋匡太 RRBV(横浜)、駿府城ライトアップ(静岡)などの楽曲を担当。

#### 吉本有輝子 Yukiko Yoshimoto

舞台照明デザイナー。

2005年度 京都市芸術文化特別奨励者

2006年度 1年間文化庁新進芸術家海外留学制度研修員としてパリ市立劇場で研修

2017年 維新派『アマハラ』にて第36回日本照明家協会賞部舞台部門大賞を受賞

暗闇から最初に立ち上がる光を発見すること、観ることについて根源から考えることを大切にしながら照明を作り続けている。



## <ダムタイプ バイオグラフィ (主な活動) >

- 1984年 結成
- 《睡眠の計画 # 1》(パフォーマンス): 京都市立芸術大学構内 / 京都  
《睡眠の計画 # 2》(パフォーマンス): アートスペース無門館 / 京都
- 1985年 《風景収集狂者のための博物図鑑》(パフォーマンス): 京都市立芸術大学構内 / 京都  
《庭園の黄昏》(パフォーマンス): アートスペース無門館 / 京都
- 1986年 《睡眠の計画 # 3》(パフォーマンス): オレンジルーム / 大阪  
《睡眠の計画 # 5》(パフォーマンス): 「大阪国際演劇祭」近鉄小劇場 / 大阪
- 1987年 《036 - PLEASURE LIFE》(パフォーマンス、ビデオ、印刷物): アートスペース無門館 / 京都  
《サスペンスとロマンス》(インスタレーション、コンサート): つかしんホール / 兵庫
- 1988年 《PLEASURE LIFE》(パフォーマンス): クエストホール / 東京; 「第1回ニューヨーク国際芸術祭」P.S.122 / ニューヨーク、USA; ロンドン、UK; コペンハーゲン、デンマーク; 京都府民ホール アルティ / 京都他
- 1989年 《PLAY BACK》(インスタレーション、ビデオ): 「アゲインスト・ネイチャー」展 (アメリカ巡回)
- 1990年 《pH》(パフォーマンス、インスタレーション、ビデオ、印刷物): スパイラル / 東京  
《pH》(パフォーマンス): アートスペース無門館 / 京都  
《PLAY BACK》(インスタレーション、ビデオ): 「アゲインスト・ネイチャー」展 (アメリカ巡回)
- 1991年 《pH》(パフォーマンス): 京都市美術館; ICA / 名古屋; スペイン; ニューヨーク、USA; カーディフ、UK; グラスゴー、UK  
《pH》(ビデオ): 日本衛星放送 (JSB-WOWOW) との共同製作
- 1992年 《pH》(パフォーマンス): オーストリア; マドリッド、スペイン; シドニー、オーストラリア他  
TV - METROPOLIS - DUMB TYPE - 30'00" TELEVISION ESPANOLA (スペイン国営放送で制作・放映)  
《pH》(ビデオ): Sole d'Oro 賞 (TTVV-Riccione / イタリア) 受賞、Best Stage Recording 賞 (IMZ - DANCE SCREEN 92 / ドイツ) 受賞  
《S / N #1》(インスタレーション): 「THE BINARY ERA」展ブリュッセル、ベルギー  
1993~ウィーン、オーストリアへ巡回  
《S / N #2》(インスタレーション): 「アナザーワールド」展、水戸美術館 / 茨城
- 1993年 《pH》(パフォーマンス): スパイラルホール / 東京; チューリッヒ、スイス  
《S/Nの為のセミナー・ショー》(パフォーマンス、トーク): アートスペース無門館 / 京都; 藤沢市湘南台文化センター市民シアター / 神奈川
- 1994年 《S / N #1》(インスタレーション): 「戦後日本の前衛美術」展、横浜美術館 / 神奈川; ニューヨーク、USA  
《S / N》(パフォーマンス): オーストラリア; カナダ; シアトル、USA; 「第1

- 回神奈川芸術フェスティバル」横浜ランドマークホール／神奈川
- 1995年 《pH》(ビデオ):「ビデオ・フィルム・ダンス・フェスティバル」／香港  
《S / N》(パフォーマンス、CD):スパイラル／東京  
《S / N》(パフォーマンス):第2回読売演劇大賞・選考委員特別賞受賞;フランス;ブリュッセル、ベルギー;チューリッヒ、スイス;オーフス、デンマーク;ミュンヘン、ドイツ;サルバドール、ブラジル;サンパウロ、ブラジル他  
《S / N #1》(インスタレーション):「戦後日本の前衛美術」展、／サンフランシスコ、USA  
《pH》(パフォーマンス):モブージュ、フランス;クレティユ、フランス;トロント、カナダ
- 1996年 《S / N》(パフォーマンス):「TOKYO 演劇フェア '96」東京芸術劇場;京都府民ホール・アルティ;香港文化センター;ウェリントン、ニュージーランド;セビリア、スペイン;クレティユ、フランス
- 1997年 《OR》(パフォーマンス):リンツ、オーストリア;パークタワーホール／東京;クレティユ、フランス他  
《OR》(インスタレーション):NTTインターコミュニケーション・センター(ICC)／東京  
《OR》(コンサート):「Palermo di Scena」パレルモ、イタリア;神戸アートビレッジセンター／兵庫;スパイラルホール／東京
- 1998年 《OR》(パフォーマンス):アムステルダム、オランダ;リスボン、ポルトガル;スイス;ロンドン、UK;ハンブルグ、ドイツ;ストックホルム、スウェーデン他
- 1999年 《OR》(パフォーマンス):高知県立美術館;「芸術祭典・京'99」京都市北文化会館;クレムス、オーストリア;ポートランド、USA;ミネアポリス、USA;シカゴ、USA他  
《memorandum》(パフォーマンス):フランス;ベルリン、ドイツ他
- 2000年 《OR》(インスタレーション):「Musiques en Scène」展、リヨン現代美術館・収蔵／フランス;「GENDAI: 日本の現代美術 - ボディとスペースの間」展、ポーランド  
《memorandum》(パフォーマンス):シャルルロワ、ベルギー;フランス;セビリア、スペイン;アムステルダム、オランダ;ジュネーブ、スイス;高知県立美術館;新国立劇場／東京;シアター・ドラマシティ／大阪他  
《cascade》(インスタレーション、パフォーマンス):「Stanze e Segreti」展、ミラノ、イタリア
- 2001年 《cascade》(インスタレーション、パフォーマンス):「Translated Acts: Performance and Body Art From East Asia」展、ベルリン、ドイツ
- 2002年 《memorandum》(パフォーマンス):テルアビブ、イスラエル;シカゴ、USA;シアトル、USA;ミネアポリス、USA;シンガポール;クアラルンプール、マレーシア他  
《Voyage》(パフォーマンス):フランス;彩の国さいたま芸術劇場／埼玉;シアター・ドラマシティ／大阪;ストラスブール、フランス他  
《Voyages》(インスタレーション):NTTインターコミュニケーション・センター(ICC)／東京
- 2003年 《Voyage》(パフォーマンス):びわ湖ホール／滋賀;ロサンゼルス、USA;クレティユ、フランス他  
《memorandum》(パフォーマンス):ソウル、韓国;イタリア;タイ;オーストラリア;ロサンゼルス、USA;ピッツバーグ、USA他

- 2004年 《Voyage》(パフォーマンス): 山口情報芸術センター[YCAM]; 台北、台湾; デュッセルドルフ、ドイツ  
《Voyages》(インスタレーション): 山口情報芸術センター[YCAM]
- 2005年 《Voyage》(パフォーマンス): スtockホルム、スウェーデン; ノルウェイ; ソウル、韓国; ミュンヘン、ドイツ他  
《OR》(インスタレーション): ベルリン、ドイツ
- 2006年 《Voyage》(パフォーマンス): ニーム、フランス; リンツ、オーストリア; グラスゴー、UK; リュブリャナ、スロベニア; オーストラリア他
- 2007年 《Voyages》(インスタレーション): 「Body Media」展 上海、中国; ナムラ・アート・ミーティング/大阪; 「Vom Funken zum Pixel」展 ベルリン、ドイツ
- 2008年 《Voyage》(パフォーマンス): ボゴタ、コロンビア; トロイ、ニューヨーク州、USA; ミュールーズ、フランス; ルアーブル、フランス他
- 2009年 《Voyage》(パフォーマンス): アテネ、ギリシャ; カンヌ、フランス
- 2014年 《MEMORANDUM OR VOYAGE》(インスタレーション): 「Seeking New Genealogies - Art / Bodies / Performances」展  
東京都現代美術館/東京
- 2017年 《MEMORANDUM OR VOYAGE》(インスタレーション): 「Reenacting History Collective Actions and Everyday Gestures」ソウル、韓国; 「ROMAEUROPA DIGITALIFE」ローマ、イタリア
- 2018年 “ACTIONS + REFLECTIONS” (個展): メッス、フランス
- 2019年 「アクション+リフレクション」(個展): 東京都現代美術館/東京



## <ダムタイプ 新作パフォーマンス 開催概要>

KYOTO STEAM-世界文化交流祭-2020 ダムタイプ 新作パフォーマンス 『2020』

日程：2020年3月28日（土）19:00 開演\*

29日（日）15:00 開演\*、19:00 開演【追加公演】

\* 終演後、ポスト・パフォーマンストークを行います。

会場：ロームシアター京都 サウスホール

料金：全席指定 一般 5,000円 ユース（25歳以下）2,500円

\* 受付開始は開演の60分前、開場は開演の30分前

\* 車椅子でご来場のお客様は事前にロームシアター京都までご連絡ください。

\* 未就学児入場不可。

\* 演出の都合上、開演後は本来のお席にご案内できない場合がございます。

\* 29日（日）公演は託児サービスあり（詳細はロームシアター京都 WEB サイトをご確認ください。）

### チケット取扱：

- ・ロームシアター京都 オンラインチケット 24時間購入可 ※要事前登録（無料）  
<https://www.e-get.jp/kyoto/pt/>
- ・ロームシアター京都 チケットカウンター  
TEL.075-746-3201 （窓口・電話とも10:00～19:00 / 年中無休 ※臨時休館日を除く）
- ・京都コンサートホール チケットカウンター TEL.075-711-3231  
（窓口・電話とも10:00～17:00 / 第1・3月曜日休館 ※休日の場合は翌日）
- ・チケットぴあ TEL.0570-02-9999 [Pコード：499-172] <http://t.pia.jp/>
- ・イープラス [eplus.jp](http://eplus.jp)（スマートフォン / PC / Famiポート）

### チケット発売：

- ・一般発売：2020年1月18日（土）10:00～
- ・フレンズ会員・club会員・京響友の会会員 先行発売：2020年1月11日（土）10:00～

お問合せ：ロームシアター京都 チケットカウンター TEL.075-746-3201

制作：ダムタイプ、ロームシアター京都 企画製作：ロームシアター京都

協力：株式会社タケナカ 共催：公益財団法人セゾン文化財団

主催：KYOTO STEAM-世界文化交流祭-実行委員会

### 参画団体

京都市 / 京都市立芸術大学 / 京都市京セラ美術館 / 京都市動物園 / （公財）京都市芸術文化協会 /  
（公財）京都市音楽芸術文化振興財団 / （公財）京都高度技術研究所 / 京都商工会議所 /  
京都経済同友会 / 日本放送協会京都放送局 / 京都新聞社 / 京都岡崎 蔦屋書店

[本リリースに関するお問合せ先]

ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）広報担当：松本、長野

電話：075-771-6051（9:00～17:00）FAX:075-746-3366 E-mail:[press@rohmtheatrekyoto.jp](mailto:press@rohmtheatrekyoto.jp)